



令和8年2月27日

- 【学校教育目標】 ◇みんなと協力する子（徳育） ◇自分の力で考える子（知育）  
 ◇心身ともに健康な子（体育） ◇人との関わりを大切にする子（響育）
- 【学校経営方針】 **みんなで作る みんなの与野西北小学校**
- 【児童会スローガン】 **せ・い・ほ・く だ・い・す・き**

【西北小学校50周年キャラクター】  
西北五十丸



与野西北小学校 TEL853-0109 ホームページ http://yonoseihoku-e.saitama-city.ed.jp/



## メディアリテラシーの育成

校長 緒方 健二

校庭の桜の蕾が膨らみ始めました。いろいろなところで春の準備が進んでいます。学校でも、今年度のまとめと同時に、新年度の準備が着々と進んでいます。既にお知らせしましたが、子どもの学習用パソコンがipadに入れ替えとなります。利便性が高くなり、さらなる学習活動の充実が期待されます。しかし、一方で使い方によっては大きな問題につながる危険性も含んでおり、メディアリテラシーの育成が重要となります。

先日、PTA主催で行われた「メディアリテラシー出前講座」に参加しました。現在、子どものインターネット使用を禁止するというのは難しい現状があります。また、制限したり、ルールを決めたりしようとしても、インターネットが学習、読書、ゲーム、アニメ、コミュニケーション、動画などなど制限する範囲を明確にすることも難しいところがあります。家族でルールを作る際には、親子での共通認識が大切ということでした。

講座の中で、「インターネットを使うことは、自転車運転と似ている」との話がありました。自転車に乗れるようになると、自分で行ける場所がぐんと広がり、とても便利で楽しくなります。しかし、自転車を運転するためには、

ペダルを漕ぐ、ハンドルを操るという「技術」だけでは十分ではありません。

- ・交通ルール(情報モラル):赤信号で止まる、左側を通る。
- ・マナー(思いやり):歩行者に優しくする、迷惑な場所に止めない。

これらを守らなければ、自分だけでなく、周りの人を傷つける大きな

事故に繋がってしまいます。パソコンも同様です。検索の仕方やタイピングの「技術」を覚えるのと同時に、「インターネット上のルールやマナー」を身につけることが必要です。

- ・誰かが嫌な気持ちになる言葉を書き込んでいないか(事故の防止)
- ・知らない人に自分の大切な情報を教えていないか(防犯)

学校では、パソコンを「ただの道具」としてではなく、正しく安全に使いこなす「心」を育てる指導を継続してまいります。子どもが自転車に乗り始めた頃、私たちは後ろを支えて一緒に走り、慣れるまでは必ず大人の目が届く範囲で見守ります。インターネットの世界も、同じではないでしょうか。

最近、何気ない一言や動画が思わぬトラブルに発展するケースが増えています。「受け取る時は冷静に、発信する時は慎重に」を心掛け、お子さんが自分自身を傷つける加害者とならないように、ご家庭でも発信前の一呼吸を大切にするようお声掛けください。そして、最も大切なことは、お子さんが「これ変かも?」「これ大丈夫かな?」と相談できる心のつながりです。万が一、変な画面が出たり、お友達とトラブルになったりした時、「怒られる」と思って隠してしまうことが一番の危険です。「正直に相談してくれてありがとう」と言い合える関係を、お子さんと学校と家庭で築いていきたいと考えています。



今年度も、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰様で、子どもたち一人ひとりが、それぞれに成長をすることができました。心より感謝を申し上げます。令和8年度は開校60周年となりますので、一層のご協力をよろしくお願いいたします。